

2016年12月期 決算説明会



2017年2月24日

<http://ideacon.jp/>

本資料は、当社の評価を行うための参考となる情報提供のみを目的としたものです。投資等の最終決定は、ご自身の判断でなさるようお願い致します。投資の結果等に対する責任は負いかねますのでご了承ください。


当資料に掲載されている予想数値あるいは将来に関する記述の部分は、資料作成時の判断ですが、その内容の完全性・正確性を会社として保証するものではありません。予想数値等は、今後の経済情勢等により、修正を行うことがあります。

<目 次>

- 1. 当社グループの紹介**
- 2. 2016年12月期決算のポイント**
- 3. 受注確保への取り組み**
- 4. 2017年12月期の計画**

< 1. 当社グループの紹介 >

1-1. 当社の概要

1-2. 業務概要の紹介（ビデオにて紹介） 

1-3. 当社グループの概要

1-4. 当社のポジショニング

1-5. 主要顧客の概要

1-1. 当社の概要

- ◆ 名 称 いであ株式会社 (IDEA Consultants, Inc.)
- ◆ 本社所在地 東京都世田谷区駒沢
- ◆ 創業年月 1953年(昭和28年)5月
- ◆ 設立年月 1968年(昭和43年)9月
- ◆ 資本金 31億7,323万円
- ◆ 従業員数 914名(連結、2016年12月現在)
- ◆ 連結子会社 新日本環境調査(株)、沖縄環境調査(株)、東和環境科学(株)、以天安(北京)科技有限公司
- ◆ 事業概要 社会基盤の形成と環境保全の総合コンサルタント

1-2. 業務概要の紹介

◆ビデオにてご紹介いたします 

1-3. 当社グループの概要

いであグループ

いであ+連結4社 914名

<連結子会社:4社>

<非連結子会社:3社>

新日本環境調査(株)

- ・水域、陸域環境調査
- ・環境アセスメントに係る
コンサルタント業務
- ・分析業務

沖縄環境調査(株)

東和環境科学(株)

- ・環境コンサルティング
- ・廃棄物対策
- ・土壌汚染対策

以天安(北京)科技有限公司

- ・中国における窓口業務

寧波国科監測技術有限公司

2016年12月現在

いであ(株)

815名

平均年齢 43.5歳

イーアイエス・ジャパン(株)

- ・環境計測機器の製造・販売・保守

日本設計サービス(株)

- ・成果品の製本印刷
- ・CAD図面の作成

(株)Ides 海外ODA事業

ジーフォーム(株)

- ・土壌浄化装置等の開発・製造

UAE-IDEA Advance Analytical Company Limited (UIA)

- ・タイでの環境分析業務

中持依迪亜(北京)環境検測分析株式会社 (持分法適用)

- ・中国での環境分析業務

<関連会社:4社>

1-4. 当社のポジショニング

◆ 建設コンサルタント会社中の売上高順位は6位

◆ 「建設環境分野」の売上高順位は **1位をキープ**

カッコ内売上高（億円）

順位	建設コンサルタント部門全体	建設環境分野	港湾および空港分野	河川、砂防および海岸・海洋分野	東日本大震災の復旧・復興業務
1	日本工営 (435)	いであ (88)	パシフィックコンサルタンツ (42)	建設技術研究所 (136)	国際航業 (43)
2	パシフィックコンサルタンツ (386)	建設環境研究所 (47)	日本工営 (31)	日本工営 (85)	パスコ (34)
3	建設技術研究所 (321)	環境総合テクノス (32)	日本港湾コンサルタント (21)	パシフィックコンサルタンツ (62)	オオバ (33)
4	八千代エンジニアリング (187)	日本工営 (30)	エコー (18)	八千代エンジニアリング (45)	建設技術研究所 (30)
5	国際航業 (163)	パシフィックコンサルタンツ (26)	ニュージェック (15)	東京建設コンサルタント (45)	日本工営 (27)
6	いであ (160)	アジア航測 (26)	いであ (12)	国際航業 (34)	いであ (24)
7	ジェイアール東日本 コンサルタンツ (160)	建設技術研究所 (25)	八千代エンジニアリング (11)	いであ (32)	応用地質 (24)
8	エイト日本技術開発 (153)	エヌエス環境 (21)	三井共同建設コンサルタント (10)	ドーコン (30)	パシフィックコンサルタンツ (21)
9	日水コン (152)	応用地質 (20)	エイト日本技術開発 (9)	ニュージェック (30)	玉野総合コンサルタント (15)
10	オリエンタルコンサルタンツ (151)	国際航業 (15)	日本海洋コンサルタント (9)	日本振興 (29)	エイト日本技術開発 (10)

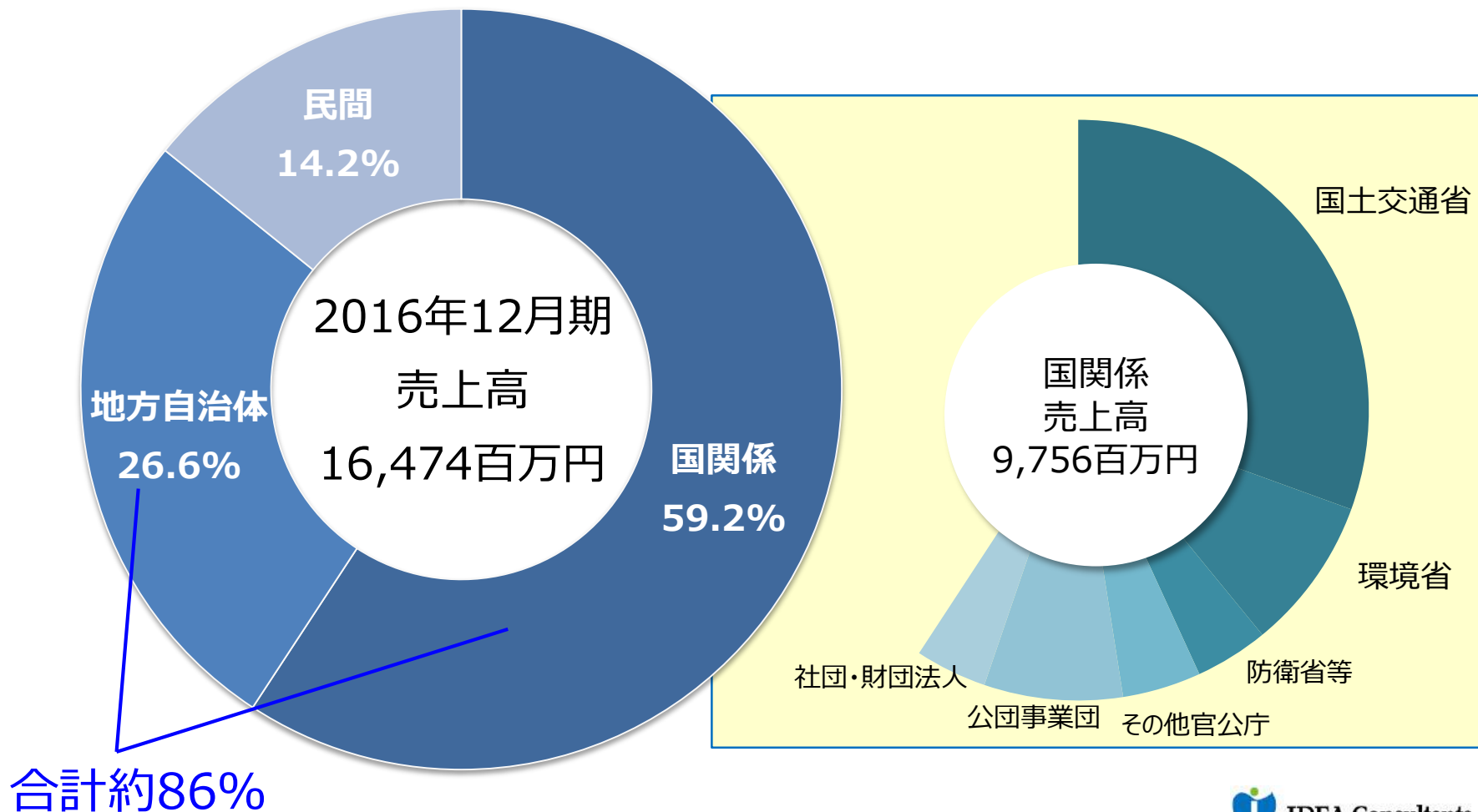
出典) 日経コンストラクション(2016.5.9)「建設コンサルタント決算ランキング2016」日経BP社の許可を得て掲載。
無断転載・複製を禁じます。

注1) データは2015年12月期。建設コンサルタント部門売上高 16,057百万円, 全体売上高 16,596百万円

2) いであ(株)単体のデータを提供。

1-5. 主要顧客の概要

- ◆ 「国関係」は約59%、「地方自治体」が約27%
- ◆ 「国・地方自治体」で約86%、残り14%が「民間」
- ◆ 「民間（電力を含む）」は3年間で2.8%増加



< 2. 2016年12月期 決算のポイント >

2-1. 連結決算概要

2-2. セグメント別売上高の構成

2-3. 販売費及び一般管理費の推移

2-4. 連結貸借対照表

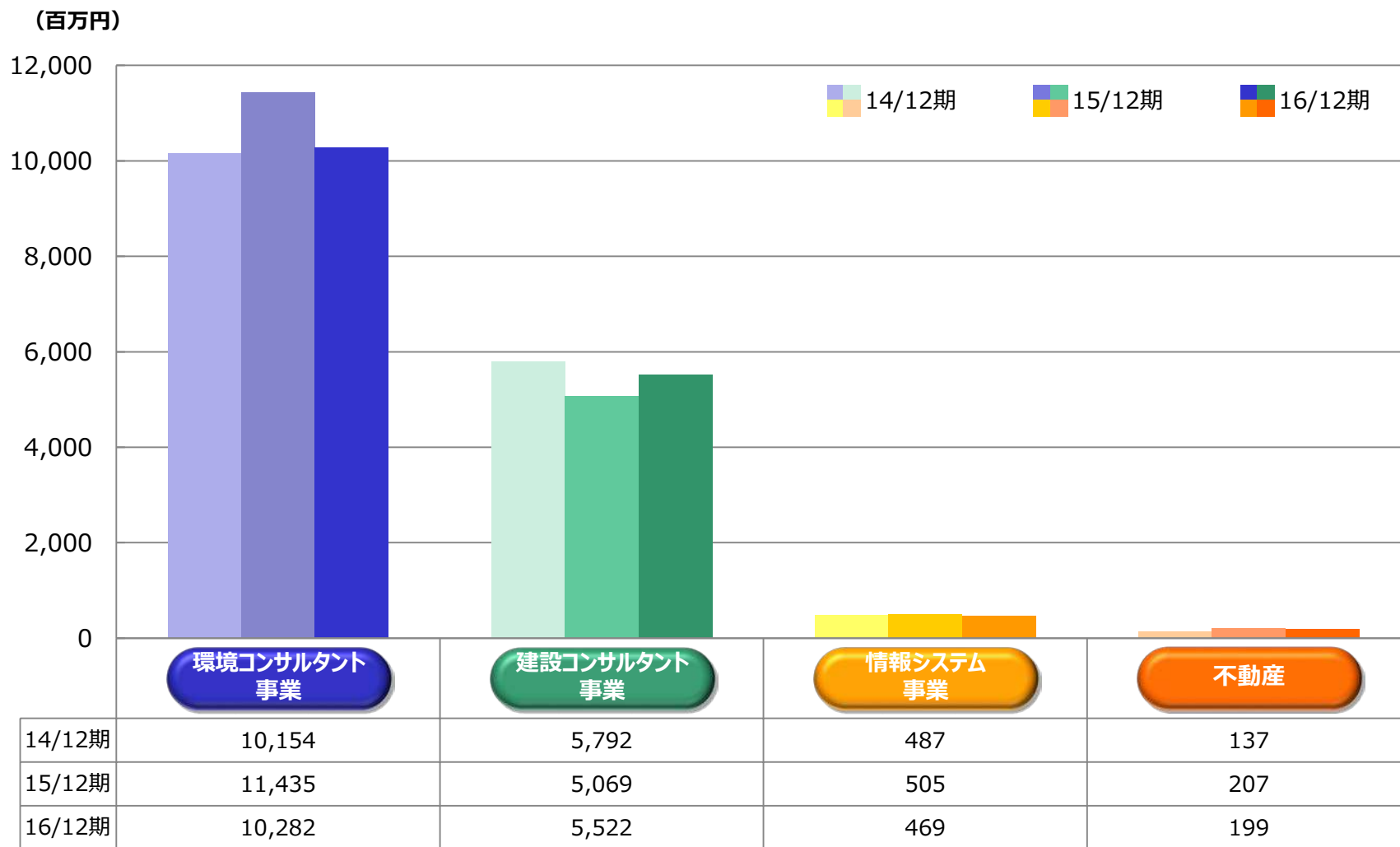
2-1. 連結決算概要

- ◆ 売上高は、大規模海洋工事の中断によって、受注済みであった環境モニタリング調査が実施できず売上計上できなくなったこと、放射能除染関連業務において数量減による減額変更があったこと等により、前期比4.3%減
- ◆ 営業利益率は6.8%、親会社株主に帰属する当期純利益率は4.8%

(単位：百万円)

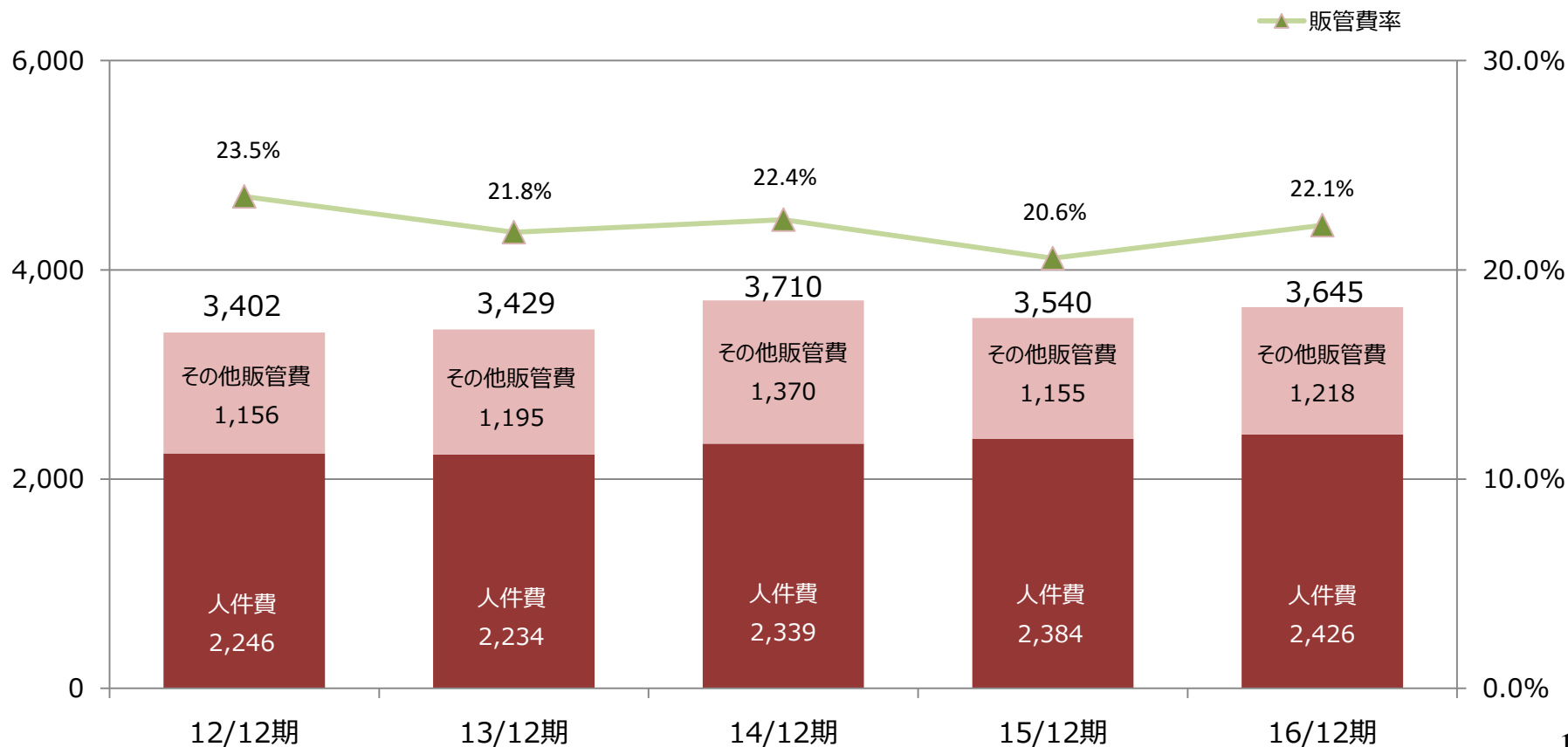
	14/12期	15/12期	16/12期	増減
売上高	16,571	17,218	16,474	△744 (△4.3%)
営業利益	1,825	1,692	1,124	△568 (△33.6%)
経常利益	1,850	1,746	1,145	△601 (△34.4%)
親会社株主に帰属 する当期純利益	1,588	1,097	786	△311 (△28.4%)

2-2. セグメント別売上高の構成



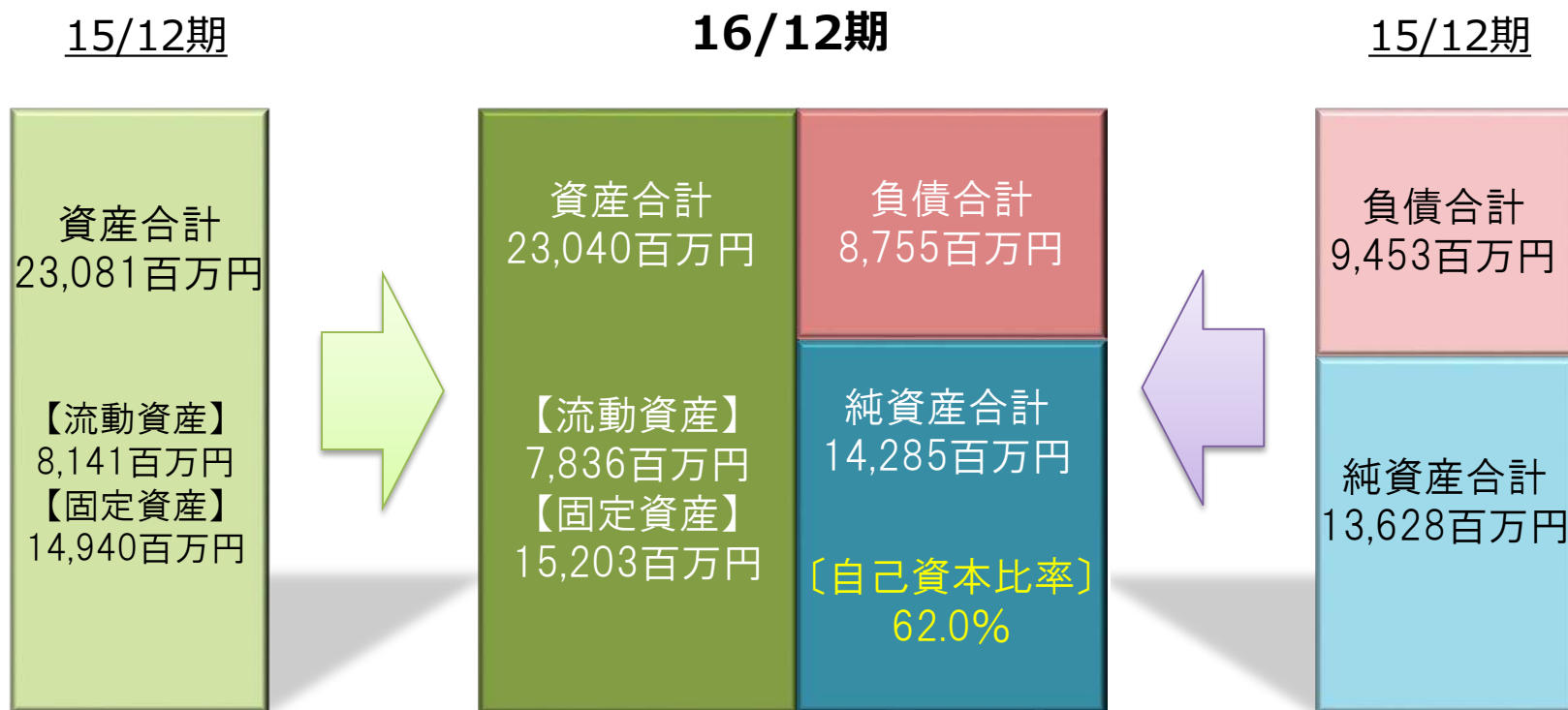
2-3. 販売費及び一般管理費の推移

- ◆ 販売費及び一般管理費は、前期に比べ1億4百万円増加
- ◆ 人件費は4千1百万円の増加、その他販管費は6千3百万円の増加



2-4. 連結貸借対照表

- ◆ 資産合計は前期に比べ、ほぼ横ばい
- ◆ 自己資本比率は62.0%と3.0ポイント上昇



< 3. 受注確保への取り組み >

- 3-1. 中期経営ビジョン(2016～2018)の概要
- 3-2. 2017～2019年の数値目標
- 3-3. イノベーションを担える人材づくり
- 3-4. 受注形態別受注高割合(単体)の推移
- 3-5. 重点事業分野に関する取り組み事例

3-1.中期経営ビジョン（2016～2018）の概要

イノベーションとマーケティングによる市場創生・新規事業の展開と海外事業の拡大

～中期経営ビジョンの位置付け～

2023年（創立70周年）に連結売上高200億円、当期純利益率5%（営業利益率10%）を安定的に維持するための基盤を強化する期間

3つの柱

1. イノベーションとマーケティングによる市場創生・新規事業の展開と新しい視点による技術開発の推進
2. グローバル人材の育成・確保と海外事業の拡大
3. コーポレート・ガバナンスのさらなる強化

重点事業分野

- 土壌汚染対策、廃棄物事業
- 生命科学関連事業
- 海洋調査・海洋資源開発関連事業・海底利用関連事業
- 再生可能エネルギー関連事業
- 化学物質のリスク管理
- 生物多様性・自然再生関連事業
- 流域管理関連
- 防災・減災事業
- インフラ施設の維持管理
- 海外事業展開

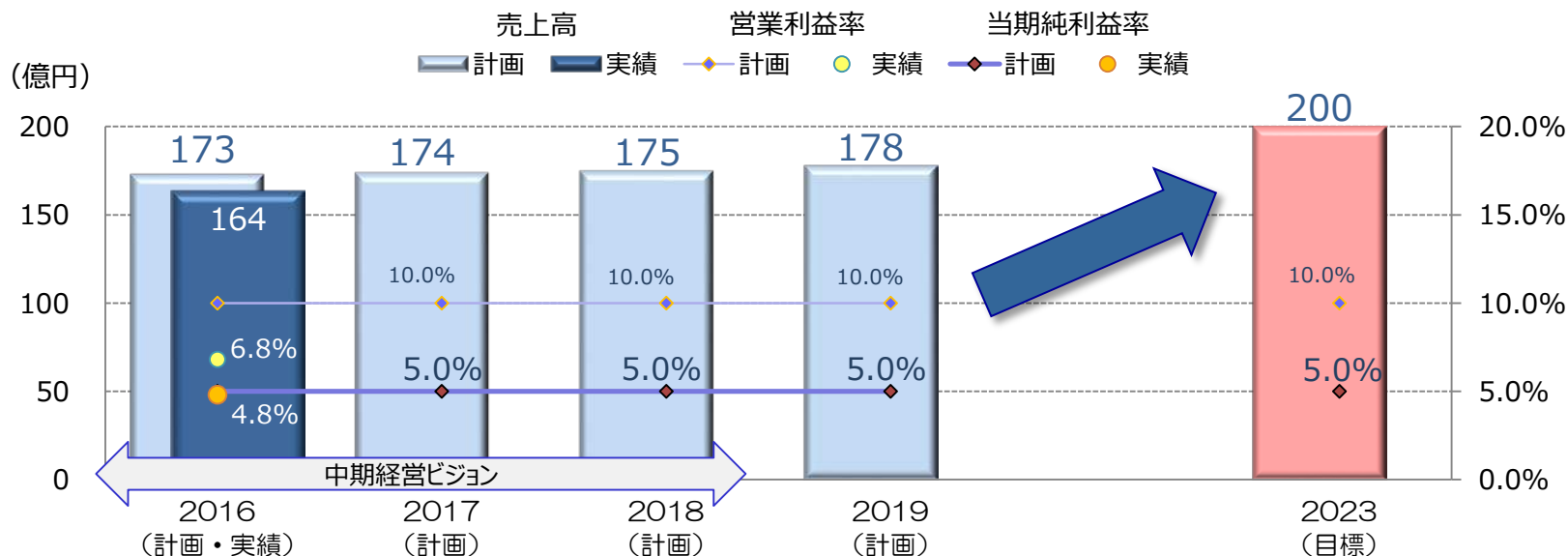
※上記分野に対しICT、IoT、ロボット、AI技術などを積極的に利活用

3-2. 2017～2019年の数値目標

- ◆ 16/12期の売上高は約164億円、営業利益率は6.8%、当期純利益率は4.8%
→中期経営ビジョン（2016～2018）における初年度の数値目標を下回る
- ◆ 17/12期は当初の目標どおりの売上高を計画

数値目標（2017～2019）

2019年目標 連結売上高**178億円**
当期純利益率**5%**（営業利益率10%）



3-3(1). イノベーションを担える人材づくり

富士研修所（山梨県）や現地で研修を実施

⇒ 階層別研修、 専門技術研修、 技術士取得者研修など



富士研修所 - FUJI INNOVATION CENTER -
(2016年3月竣工)



講師・受講者を合わせ、のべ700名以上参加

3-3(2). イノベーションを担える人材づくり

専門技術研修・資格取得研修等の成果

● 業務評定点の実績（国土交通省・内閣府発注業務）

区分	2011業務	2012業務	2013業務	2014業務	2015業務
全平均	76.3	76.4	77.0	77.3	77.6

● 表彰獲得業務数の実績

区分	2011業務	2012業務	2013業務	2014業務	2015業務
局長表彰	16	9	10	15	9
事務所長表彰	28	23	28	29	26
合計※	40	29	36	43	34

※ 局長表彰・事務所長表彰の重複を除く

● 技術士総数

区分	2012	2013	2014	2015	2016
総数	422	426	434	442	449

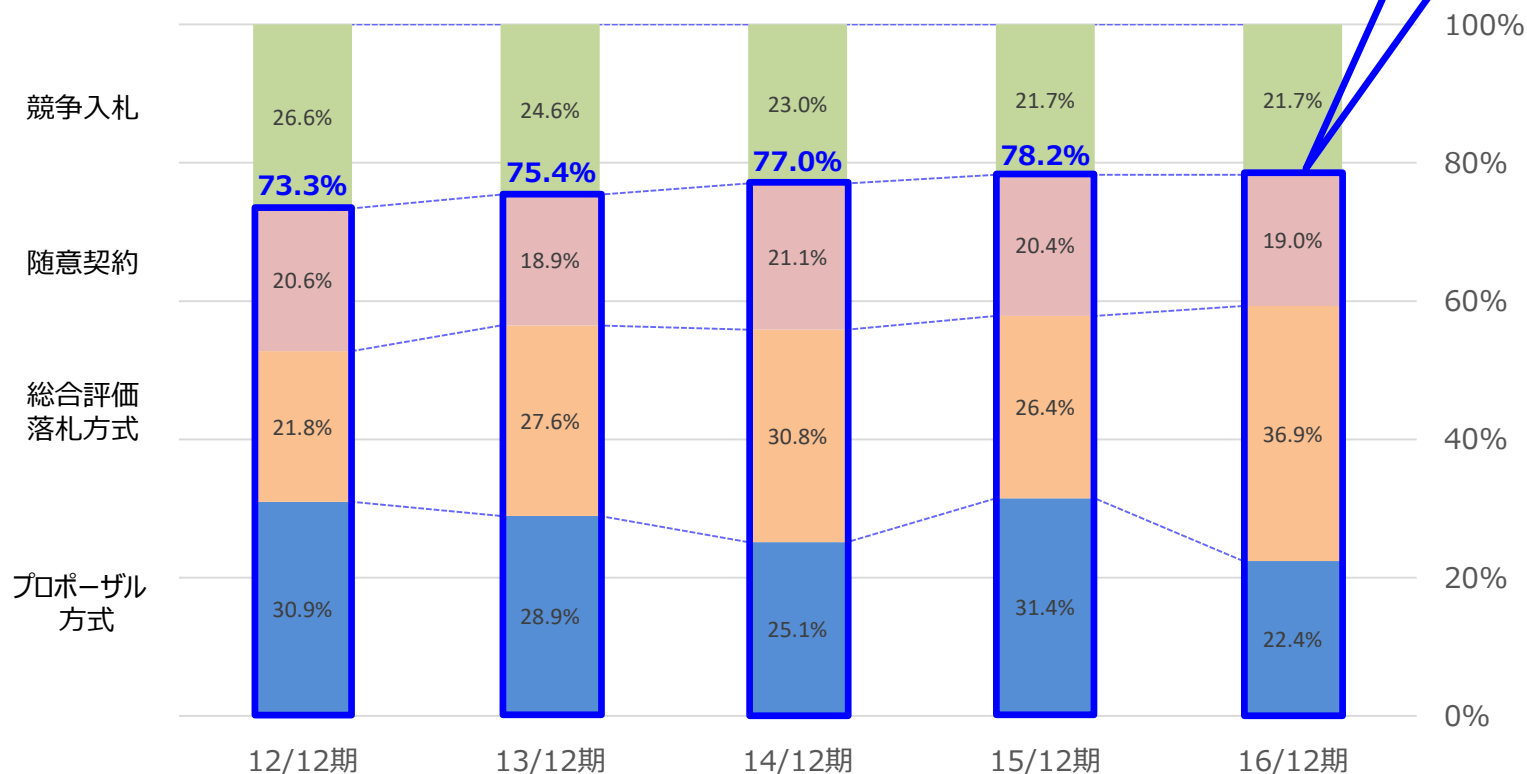
3-4. 受注形態別受注高割合(単体)の推移

技術力及び提案力向上・技術開発による高付加価値化・選択と集中

▶ プロポーザル・総合評価落札方式での受注を重視

◆ 技術力が重視される契約方式による受注高割合が増加傾向(青枠)

78.3%



3-5. 重点事業分野に関する取り組み事例

3-5-1. 食品・生命科学

3-5-2. 生物多様性・自然再生

3-5-3. 防災・減災

3-5-4. インフラ施設の維持管理

3-5-1. 食品・生命科学

健康な暮らしを支える医療・食品・生活環境の分析

(食品・生命科学研究所)

B to B - Business -

B to A - Academic -

食品

迅速・安価・信用・信頼

生命

先端・専門・正確・少量

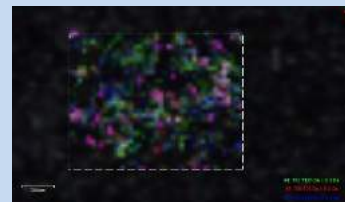
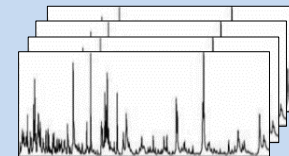
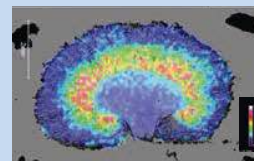
アームロボットによる自動前処理
ロボットによる分析自動化



分析

分離 解析

イメージングMS
薬物動態、代謝物分布解析



お部屋の健康診断

ライフケア

毛髪診断、腸内フローラ診断、病原体検査

安心・安全

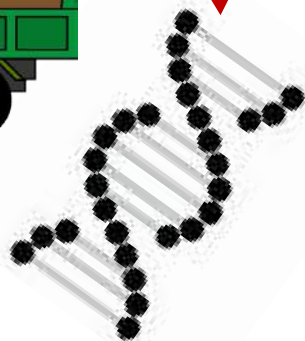
B to C - Consumer -



3-5-2. 生物多様性・自然再生 — 遺伝子解析関連技術

遺伝子解析技術の活用

【例① 外来小型生物の混入検査】



【例② 蜂蜜内の蜜源植物の検出】



富士研修所にて



3-5-2. 生物多様性・自然再生 — 最新の調査手法の紹介

ドローンを用いた生物調査

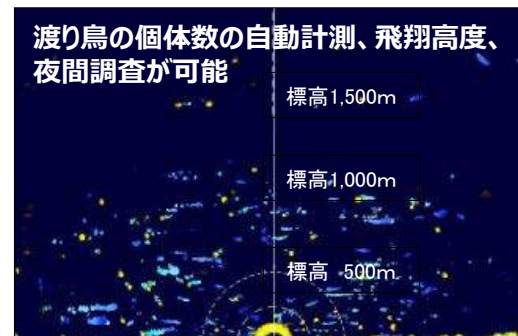
希少種の生態調査（コウノトリの産卵数調査）、シカの個体数調査、害獣駆除等に活用



撮影結果：卵の数を確認

船舶レーダによる鳥類調査

風力発電におけるバードストライクの影響予測調査、洋上風力における海鳥調査に活用



3-5-3. 防災・減災 – 砂防堰堤の整備

気候変動に伴い頻発・激甚化する土砂災害に対応した砂防堰堤等の検討・設計

- ◆ 近年甚大な被害を受けた地域において、短期集中的に砂防堰堤の整備等を実施し、再度災害防止対策を推進
- ◆ 当社の砂防堰堤設計の業務実績をもとに、広島土砂災害現場において、土石流発生後の溪流調査や砂防堰堤の設計を実施



【H26広島土砂災害の土砂流出状況】



【当社設計の砂防堰堤の施工状況】

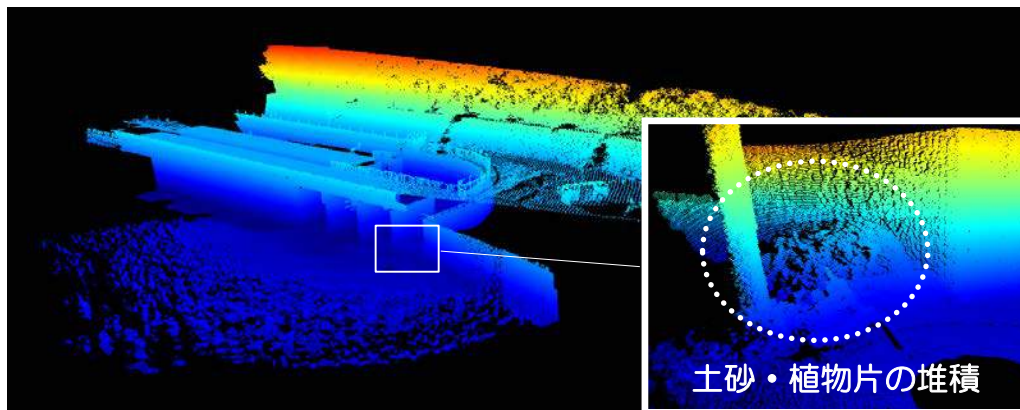
3-5-4. インフラ施設の維持管理 – 水中構造物の可視化

インフラ施設の維持管理 ～水中構造物の可視化～

“次世代社会インフラ用ロボットの開発・導入の推進（国土交通省 実証実験）”



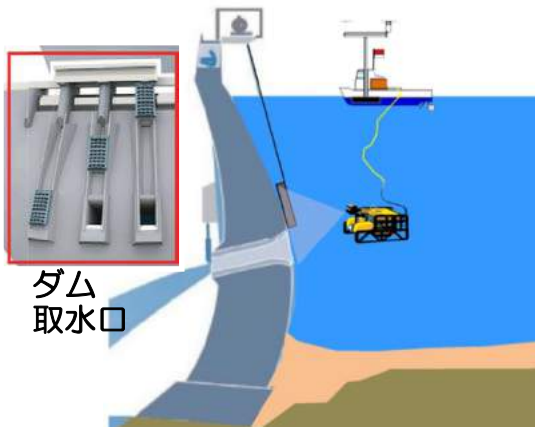
水中3Dスキャナーとクローラー 3Dレーザー



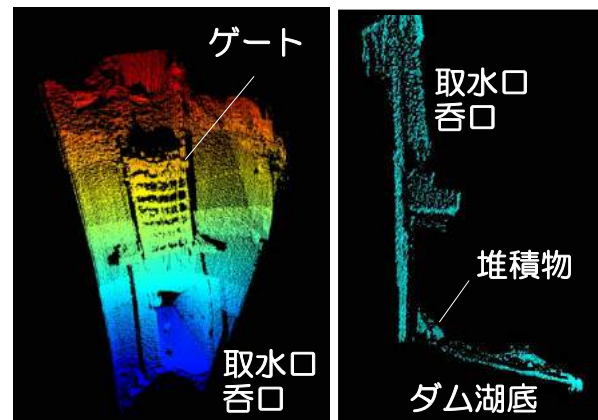
水中部と陸上部のシームレスな3Dモデル



水中3Dスキャナー搭載ROV



ROVによるダム測定概要

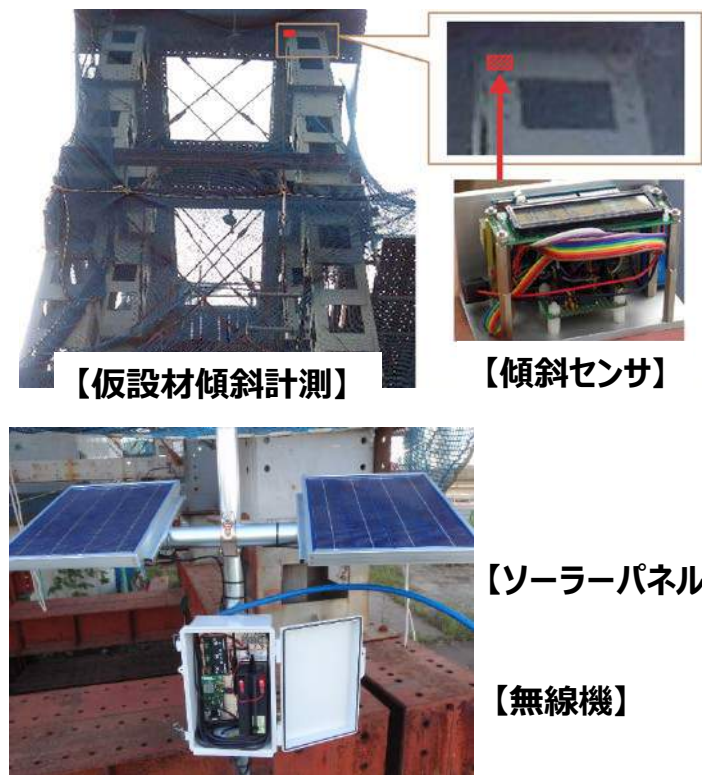


ダム取水口周辺の3Dモデル

3-5-4. インフラ施設の維持管理 – 橋梁モニタリング

先端技術を活用した橋梁モニタリング

- ◆ 老朽した橋梁にセンサを設置して計測することで、遠隔地で橋梁の変状や損傷規模を検知し、異常時にデータをメール配信することでリアルタイムに検知（現在、12橋に設置）
- ◆ 新名神自動車道の橋桁落下事故以降、これらのモニタリング技術を応用し、施工時仮設材の転倒を未然に防ぐ、傾斜検知システムも構築（橋梁架設会社が新たな顧客に）



< 4. 2017年12月期の計画 >

4-1. 連結決算予想

4-2. 期首繰越受注残高の推移

4-1. 連結決算予想

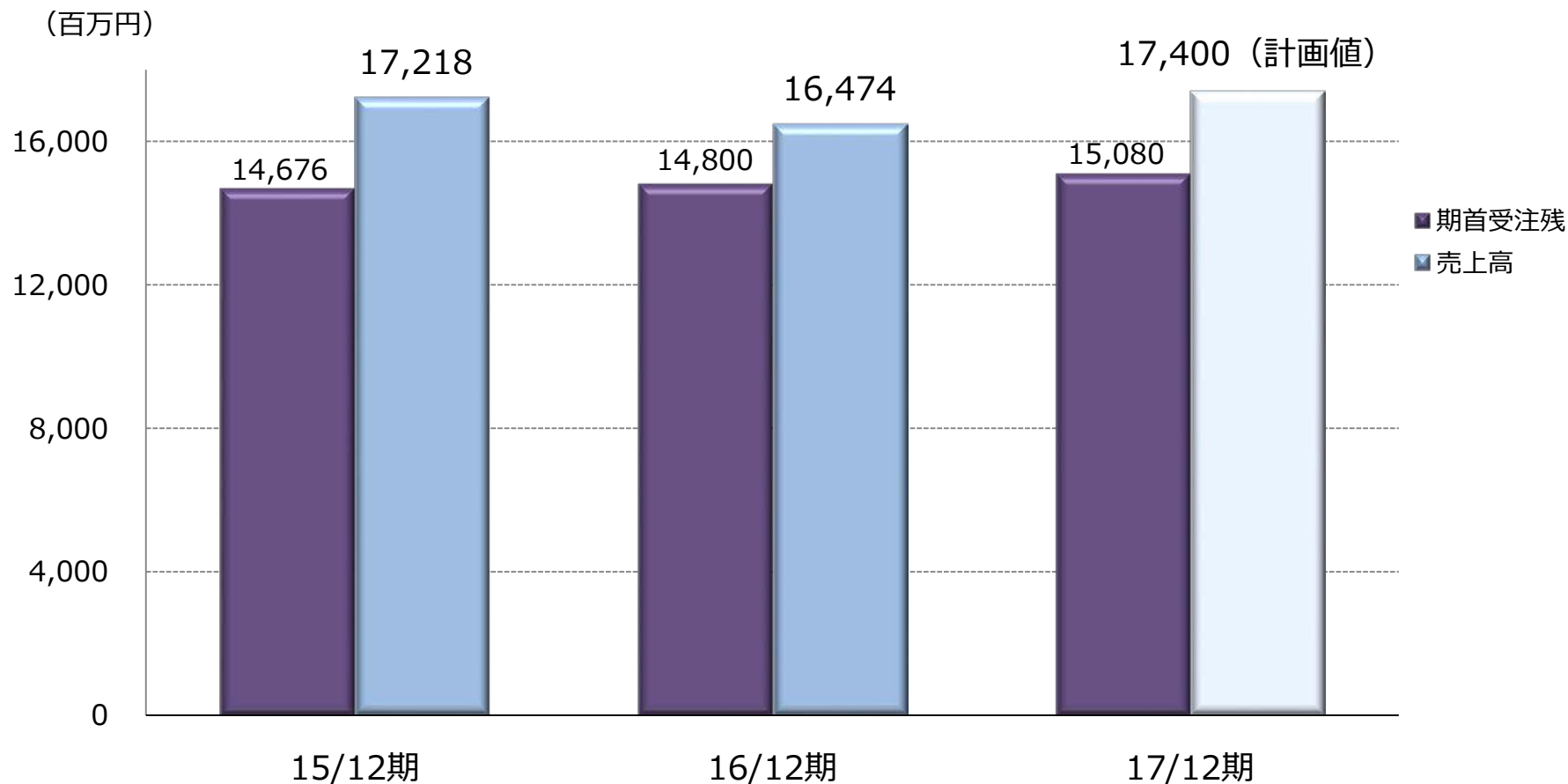
- ◆ 売上高は約9億2千6百万円増の174億円（前期比5.6%増）
- ◆ 営業利益13億5千万円（同20.1%増）
- ◆ 親会社株主に帰属する当期純利益8億5千万円（同8.1%増）

（単位：百万円）

	2015/12 実績	2016/12 実績	2017/12 予想
売上高	17,218	16,474	17,400
営業利益	1,692	1,124	1,350
経常利益	1,746	1,145	1,350
親会社株主に帰属 する当期純利益	1,097	786	850

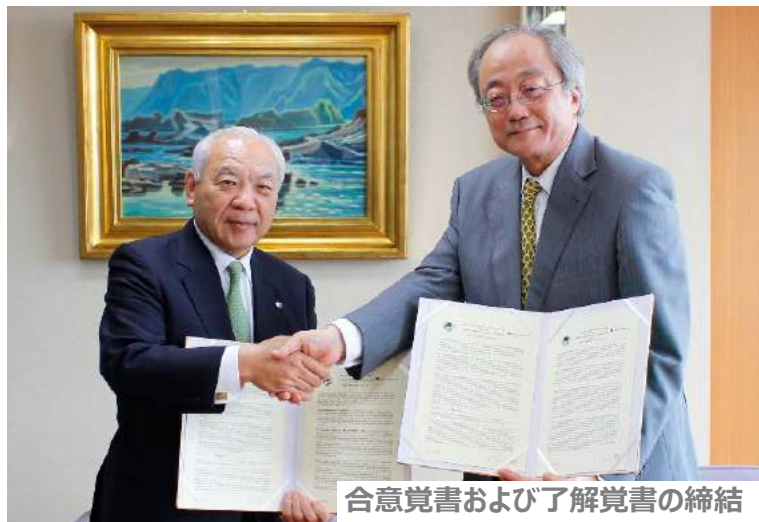
4-2. 期首繰越受注残高の推移

◆ 期首繰越受注残高は約2億8千万円増の150億円（前期比1.9%増）



トピックス –IDEA R&D CENTER タイに開設–

- ◆ アジア工科大学院（AIT）と共同事業を行うため、IDEA R&D Center開設
- ◆ 当社の職員を教員として派遣し、AITとの共同研究等を通じてASEANでの事業展開を推進



トピックス - 土木学会デザイン賞2016 最優秀賞を受賞 -

- ◆ 当社設計の天神川水門(島根)が土木学会デザイン賞2016の最優秀賞を受賞
- ◆ 周辺景観との調和や水辺利用に配慮した、一体的なデザインが評価された



ご清聴 ありがとうございます

質疑応答